

して、自分のろばに乗せ、宿屋に連れて行って介抱した。35そして、翌日になると、デナリオン銀貨二枚を取り出し、宿屋の主人に渡して言った。『この人を介抱してください。費用がもっとかかったら、帰りがけに払います。』36さて、あなたはこの三人の中で、だれが追いはぎに襲われた人の隣人になったと思うか。」37律法の専門家は言った。「その人を助けた人です。」そこで、イエスは言われた。「行って、あなたも同じようにしなさい。」

【奨励者からのメッセージ】「愛されていると実感していますか？」

あなたは、誰かに愛されていると実感して生きていますか？ 誰かから自分は愛されていると具体的に感じるのは、どういうときなのでしょう。逆に、私なんて誰からも愛されていないと思うのは、どんなときなのでしょう。今日の聖書で、イエス様はあなた自身が行動をおこしなさいと勧められています。愛されていることを実感するために、あなた自身が、隣人に愛の行動をおこしてほしいのです。

では、その愛の行動とは一体何なのでしょう。マザーテレサの教えから、隣人を愛するとは具体的にどのようなことなのかを紹介したいと思います。



マザーテレサ  
(ウィキペディアより)

【聖歌隊と一緒に歌いましょう】

大学礼拝では、学生・教職員の有志による聖歌隊が合唱をします。どなたでも参加できます。毎週礼拝後にオルガン前で練習をします後学期には、クリスマス・コンサートもありますので、積極的にご参加ください。歌ってみたい学生は、本日(毎回)の礼拝後にオルガン前にお越しください。一緒に練習しましょう！

【次回の大学礼拝】2018年5月15日(火)10時40分

次回の奨励は、白石治恵先生(食と健康学類英語表現・科学英語研究室教員)がご担当くださいます。みなさん、是非ご出席ください。

【前回の大学礼拝】2018年5月1日(火)10時40分

学生 404名 教職員ほか 15名 合計 419名

【大学礼拝週報】 2018年度 第4号(前学期第4号)

2018年5月8日(火) 午前10時40分

酪農学園大学 黒澤記念講堂

《大学礼拝》

司 式 小林昭博(宗教主任)  
奏 楽 佐藤理恵(野幌教会会員)  
讃美指導 相原晴伴(循環農学類教員)

前 奏 われに来たれ、と神のみ子は語りたもう(カムマイヤー作曲)  
讃美歌 讃美歌21 280番(馬槽のなかに)  
聖 書 ルカによる福音書10章25-37節  
祈 り  
さん び 酪農学園大学聖歌隊  
奨 励 「愛されていると実感していますか？」 松中照夫  
(酪農学園大学名誉教授、日本基督教団島松教会会員)  
報 告  
讃美歌 讃美歌21 289番(みどりもふかき)  
後 奏 きみがすきだって(エーベルト作曲)

【本日の聖書】ルカによる福音書10章25-37節

25すると、ある律法の専門家が立ち上がり、イエスを試そうとして言った。「先生、何をしたら、永遠の命を受け継ぐことができるのでしょうか。」26イエスが、「律法には何と書いてあるか。あなたはそれをどう読んでいるか」と言われると、27彼は答えた。『心を尽くし、精神を尽くし、力を尽くし、思いを尽くして、あなたの神である主を愛しなさい、また、隣人を自分のように愛しなさい』とあります。」28イエスは言われた。「正しい答えだ。それを実行しなさい。そうすれば命が得られる。」29しかし、彼は自分を正当化しようとして、「では、わたしの隣人とはだれですか」と言った。30イエスはお答えになった。「ある人がエルサレムからエリコへ下って行く途中、追いはぎに襲われた。追いはぎはその人の服をはぎ取り、殴りつけ、半殺しにしたまま立ち去った。31ある祭司がたまたまその道を下って来たが、その人を見ると、道の向こう側を歩いて行った。32同じように、レビ人もその場所にやって来たが、その人を見ると、道の向こう側を歩いて行った。33ところが、旅をしていたあるサマリア人は、そばに来ると、その人を見て憐れに思い、近寄って傷に油とぶどう酒を注ぎ、包帯を